

都市再生整備計画(第4回変更)

み ほ はんとう
三保半島地区

しずおか
静岡県 静岡市

平成26年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡市	地区名	三保半島地区	面積	450 ha
計画期間	平成 16 年度	～	平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度	～	平成 25 年度

目標 「5つの育」で共にはぐくむ ～豊かな自然に恵まれた 共育の観光交流半島づくり～ 目標①: 既存資源の育成と連携による観光地としての魅力向上 目標②: 交通ネットワークの充実による回遊性の向上 目標③: 地域主体の活動の連携による包括的なまちづくりの実現 目標④: 誰もが安心・快適に利用できる市街地環境づくり

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 ◇三保半島地区の特色 静岡市の三保半島は、羽衣伝説に代表される「名勝三保松原」を有する全国的にも有名な観光地であり、さらに海水浴場や、東海大学をはじめとする教育施設、福祉・コミュニティ施設が多く立地する地区である。周囲には日本三大美港と呼ばれる清水港をはじめ、日本の観光百選、国の名勝、県の自然公園に指定された日本平や国宝久能山東照宮、石垣イチゴ狩り等の観光スポットが点在し、これらと連携した観光戦略が求められており、官民一体となり、「日本平・久能山・三保松原を日本一の観光地に磨き上げる」という戦略的ビジョンが示されている。 ◇まちづくりの経緯 この三保半島においては、約20.8haの三保羽衣地区において、平成15年3月に土地区画整理事業等の都市計画決定、平成16年10月に土地区画整理事業の事業認可（組合施行）を受けたところである。平成16年度よりまちづくり交付金を活用して前述の土地区画整理事業をはじめとした地域の再生に取り組んでおり、平成18年8月の折戸中央公園の完成、平成19年10月の養護老人ホーム松風荘の完成など、順調に事業を実施してきたが、ここ数年は、用地交渉が難航してきたこともあり、当初計画より事業進捗が遅れてきている。 また、三保半島の先端部に位置する真崎地区においては、地域住民との協働により、地域の特性を活かした”観光・新産業拠点＝観光交流拠点の形成”に向けた検討が進められ、三保真崎地区整備事業基本計画案がとりまとめられている。さらに、地元団体代表者等によりまちづくり協議会による各種課題の検討、羽衣神道ワークショップやまゆうの再生ボランティアなど、地域における様々なまちづくり活動が積極的に展開されている状況である。 ◇目標設定の考え方 これまでの取り組みは個々の課題への対応が主体となっており、地域全体を捉えた包括的な検討や地域間の交流や回遊による更なる効果発現を目指すまでには至っていない状況であり、平成19年10月に実施されたまちづくり交付金モニタリング調査においても、三保半島全体として評価する必要性が指摘されている。よって、地域が一丸となって包括的に課題を解消するため、平成16年度より実施されているまちづくり交付金の対象区域を三保半島全体に拡大し、地域住民との協働の中で将来ビジョンの検討・共有化を図り、“5つの育＝知育・体育・食育・徳育・才育”を地域連携の機軸とした観光まちづくりを目指すものとする。 また、従来より進められている三保羽衣土地区画整理組合による土地区画整理事業をベースとして、長年の懸案事項である道路ネットワークの整備とともに、周辺を含めた都市環境の改善を図り、地域の生活環境・安全性・コミュニティ向上に向けた整備を進め、居住者に優しく、かつ地域と来訪者との交流にも資する良好な市街地環境の形成を目指すものとする。

課題 ◇課題(1): 従来からの課題 ①土地区画整理事業を中心とした道路・公園・下水道等の公共施設の整備と高質空間の整備 ②土地区画整理事業を含めた半島全体の道路ネットワークの形成と、脆弱な観光道路・生活道路の整備、安全な歩行者空間と自転車ネットワークの整備 ③東海地震に備えた、緊急津波対策の推進、地域防災力の強化 ◇課題(2): 三保半島全体の活性化に向けた課題 ①名勝「三保松原」を中心とした地域資源の育成・活用とブランド化の推進 ②多様なニーズに対応する交通ネットワークの形成による回遊性の向上 ③地域全体の包括的な取り組みを促すシステムづくり(組織の育成、地域連携に向けたソフト施策の展開)

将来ビジョン(中長期) 【総合計画】基本構想による、めざすまちの姿「活発に交流し価値を創り合う自立都市」 ・三保半島などの特色ある資源、環境を活かした交流拠点機能の強化と点在する拠点空間のネットワーク化を図る 【都市計画マスタープラン】羽衣地域のまちづくりの目標「美しく豊かな自然資源を背景にみなどの薫りが漂う風光明媚なまちづくり」 ・快適で利便性の高い市街地環境の整備 ・自然景観・環境の保全 ・観光レクリエーション資源を活かした交流拠点空間の整備 【まちみがき戦略プラン(平成23年10月)】静岡の良さを掘り起こし、磨き上げ、ふるさと静岡市を「希望の岡」にしたい ・戦略的MICE(マイス)の推進(三保松原周辺、真崎広場再整備関連) ・防災機能の強化(緊急津波対策、地域防災力の強化) ・快適な生活環境の保全、整備(自転車道ネットワークの整備)

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光交流客数	人/年	三保半島における1年間の観光入り込み客数(市観光統計資料)	目標①②③に関わり、既存資源の育成と連携、回遊性向上、包括的なまちづくりによる地域の魅力向上により観光客の減少傾向を食い止める。		908,095	H19	880,000	H25
地域資源の活用に関する住民の認	%	アンケート調査により、地域住民が「三保半島は、歴史・文化・自然・産業などの地域資源を活かしている」と感じている割合	目標①③に関わる。風致公園の整備や観光地としての情報発信、地域のまちづくり活動などを通じ、既存資源の活用を図る(10%増)		19	H20	29	H25
生活環境に対する満足度	%	アンケート調査により、地域住民が「三保半島は、都市基盤が整備され、誰もが安心して快適に生活できる」と感じている割合	目標②④に関わる。土地区画整理事業を中心とした公共施設の整備と高質空間の整備によって、満足度の向上を(10%増)を図る。		12	H20	18	H25

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標①: 既存資源の育成と連携による観光地としての魅力向上</p> <p>松原の自然や農地を保全・育成するとともに、“5つの育＝知育・体育・食育・徳育・才育”で地域資源を連携させ、滞在性の高い観光拠点を形成する。</p>	<p>三保半島まちづくり活動支援事業 羽衣海岸緑地整備事業 (都)塚間羽衣線カラー舗装 (関連)名勝「三保松原」緑化推進事業 (関連)真崎広場整備事業</p>
<p>目標②: 交通ネットワークの充実による回遊性の向上</p> <p>生活道路・都市計画道路の整備を推進するとともに、観光名所へのアクセス導線を確保する。 また、歩行者、自転車及び水上バス等の非自動車交通の利便性を向上させ、自動車に頼らない観光周遊を可能にする。</p>	<p>三保羽衣土地区画整理事業 (都)羽衣海岸線 (都)塚間羽衣線 三保半島まちづくり活動支援事業 (関連)観光トイレ改修事業 (関連)自転車道利用促進事業 (関連)清水三保羽衣地区</p>
<p>目標③: 地域主体の活動の連携による包括的なまちづくりの実現</p> <p>地域住民と協働で、事業の進捗を適切に管理する。 また、環境保全やまちづくりの活動を支援し、事業効果を半島全体に波及させる。</p>	<p>三保半島まちづくり活動支援事業 羽衣公園整備基本構想策定事業 (関連)(仮称)三保羽衣公園整備基本構想策定事業</p>
<p>目標④: 誰もが安心・快適に利用できる市街地環境づくり</p> <p>土地区画整理事業を中心に公園や下水道など都市基盤施設の整備を進め、住む人、訪れる人の両方が快適で安心できるみどり豊かで良質な市街地を形成する。</p>	<p>三保羽衣土地区画整理事業 折戸1号雨水幹線整備 羽衣海岸緑地整備事業 (関連)観光トイレ改修事業 (関連)清水三保羽衣地区</p>
<p>その他 三保半島まちづくり活動支援事業として、以下を実施する予定。</p> <p>①まちづくり実施計画の策定 戦略的にまちづくりを進めるため本地区に必要となる事業について、現行の協議会の範囲を拡大した三保半島地区のまちづくり協議会を設立し、具体的な事業実施計画を定める。 各事業単体の事業効果や、各事業の組合せにより相乗効果が発現できるよう、体系的な施策展開を行うことを目指し、今後のまちづくりにおける関係者間の役割の明確化、実施スケジュールの立案、事業スケジュールの管理手法の検討などを行う。 <1年目>2年目以降に計画に位置づけることを目指す事業案の具体化、調整 ・真崎地区観光複合施設の内容、周辺整備の考え方 ・自転車道リフレッシュの考え方、観光としてのあり方 ・羽衣の松ロータリー周辺のイメージ検討 等 <2年目以降>まちづくり交付金事業実施効果を見据えた住民主体のソフト施策の検討 ・公共交通と連携したレンタサイクル導入検討 ・観光農業の支援 ・既存施設活用に向けた検討 ・ボランティア活動支援や連携方策の検討(海浜環境保全活動・松枯れ対策勉強会 等)</p> <p>②まちづくりモニタリング事業 まちづくり交付金の効果発現状況の把握や、効果発現が見られない事業の見直し方策の検討など、定期的なモニタリングを行い、継続的に広報する。また、最終年度に事後評価を行う。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,062.50	交付限度額	825.00	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	1,999.20	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	799.68		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	63.30	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	25.32		

(金額の単位は百万円)

基幹事業①社会資本整備総合交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		(都)羽衣海岸線	静岡市	直	W=12m、L=1600m	H16	H25	H21	H25	2,000.0	265.7	265.7		265.7
道路		(都)塚間羽衣線	静岡市	直	W=20m、L=60m	H23	H25	H23	H25	36.80	13.80	13.80		13.80
公園														
河川														
下水道		折戸1号雨水幹線整備事業	静岡市	直	L=504m	H21	H25	H21	H25	860.0	860.0	860.0		860.0
地域生活基盤施設(緑地)		羽衣海岸緑地整備事業	静岡市	直	L=1240m	H21	H25	H21	H25	13.1	13.1	13.1		13.1
地域生活基盤施設(情報板)		4力国語情報板案内整備	静岡市	直	1箇所	H21	H21	H21	H21	1.2	1.2	1.2		1.2
高質空間形成施設														
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業		三保土地区画整理事業	組合	間	A=20.8ha	H16	H28	H21	H28	1,645.0	827.1	827.1		827.1
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										4,556.1	1,980.9	1,980.9	0	1,980.9

基幹事業②地域自主戦略交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		(都)羽衣海岸線	静岡市	直	W=12m、L=1,600m	H16	H25	H24	H24	2,000.0	40.3	40.3		40.3
道路		(都)塚間羽衣線	静岡市	直	W=20m、L=60m	H23	H25	H24	H24	36.8	23.0	23.0		23.0
公園		-												
下水道		-												
合計										2,036.80	63.30	63.30	0	63.30

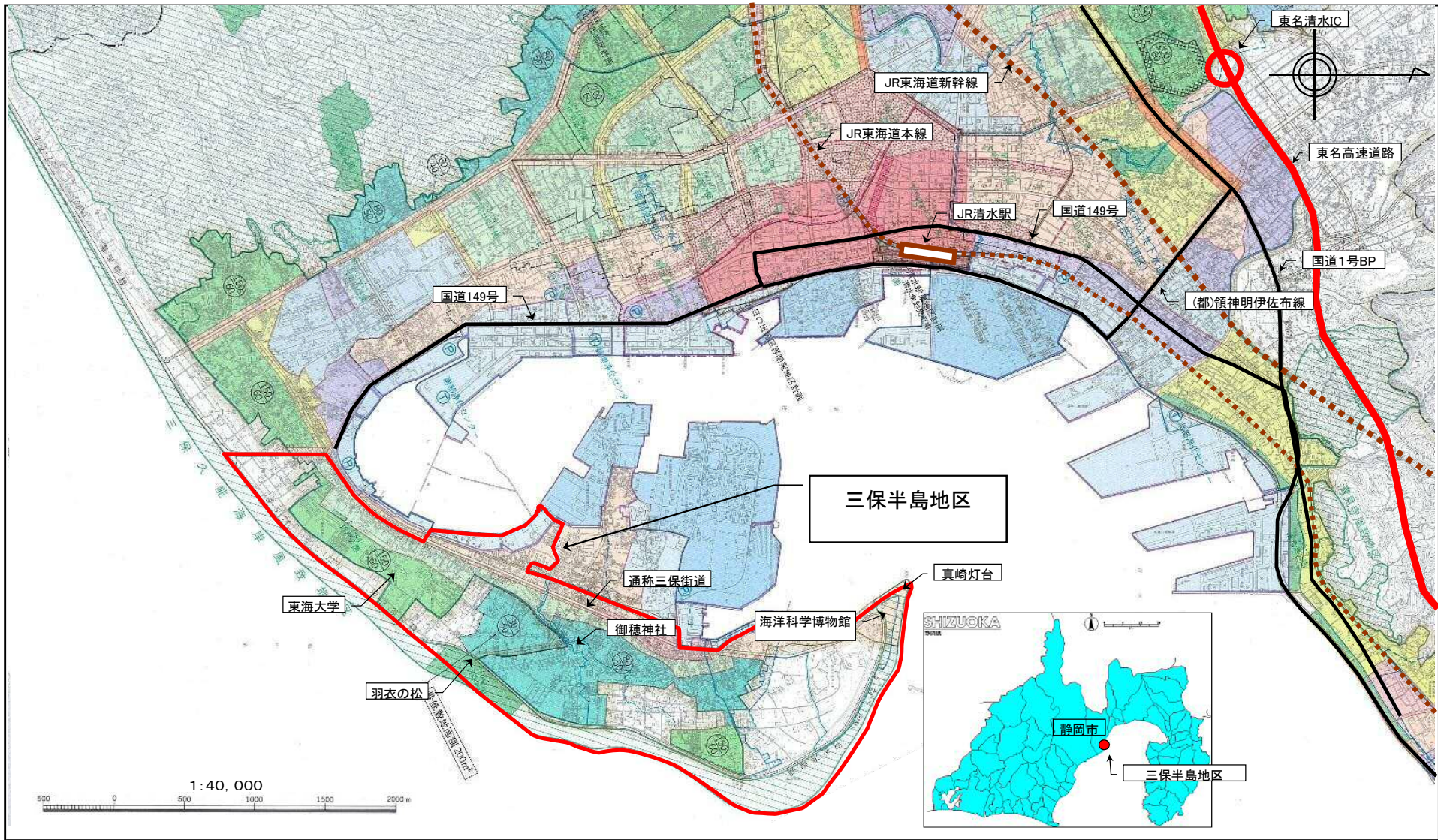
※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載 ※H24以降を記載 ※H24以降を記載

基幹事業 総計(①+②)														
総計											2,044.20	2,044.20	0	2,044.20

…A=A'+A''

都市再生整備計画の区域

<p>三保半島地区(静岡県静岡市)</p>	<p>面積 約450 ha</p>	<p>区域 清水区折戸・三保の一部</p>
-----------------------	-------------------	-----------------------



三保半島地区(静岡県静岡市) 整備方針概要図

目標	「5つの育」で共にはぐくむ、豊かな自然に恵まれた 共育の観光交流半島づくり 目標①: 既存資源の育成と連携による観光地としての魅力向上 目標②: 交通ネットワークの充実による回遊性の向上 目標③: 地域主体の活動の連携による包括的なまちづくりの実現 目標④: 誰もが安心・快適に利用できる市街地環境づくり	代表的な指標	観光交流客数 (人/年)	908,095	(H19年度)	→	880,000	(H25年度)
	地域資源の活用に関する住民の認識 (%)		19	(H20年度)	→	29	(H25年度)	
	生活環境に対する満足度 (%)		12	(H20年度)	→	18	(H25年度)	

